



# チーム身延

学校の理念：「すべての子どもに笑顔があふれる学校をつくる」

身延町立身延小学校  
Tel 0556-62-0066  
Fax 0556-62-0368

文責 校長 穂坂洋紀

## 3学期～「まとめ」と「準備」のとき～

1月9日(火)に3学期が始まりました。新年早々、石川県で地震が、また、東京の羽田空港では航空機事故が発生するなど、とても大変な災害や事故が起こってしまいました。石川県では今も、多くの方がつらい思いで避難生活を送っています。そんな中、身延小学校では予定通り、普通に登校できて、普通に始業式ができました。今回のできごとを通し、子ども達には、つらい思いをしている方々がいることを意識してもらいたいと同時に、普通でいられることの大切さやありがたさを改めてわかってもらいたいと思い、始業式で伝えました。

さて、3学期は1年のまとめの学期、締めくくりの学期です。今の学年として、3月までの目標を再確認し、その達成に向けて一歩ずつ着実に進んでいくことが大切です。

しかし、それだけでなく、3学期は次のステージの0学期です。4月までに、次の学年になる心構えと準備が大切です。4月の進学や進級に向けて、それまでにしっかり身につけたいことや、身につけなければならないことを目標にして「レベルの高い普通」を目指してほしいものです。

今の学年の最高のレベルが、次の学年のスタートのレベルになります。

新しい学年に向けて、自分を振り返り、しっかり準備する学期にしてほしいと同時に、今の学年の最後として満足いくように過ごしてほしいと思います。

3学期も、子どもたちには、いろいろな活動の中で様々なことにチャレンジし、充実した時間を過ごしてもらいたい、そして、その経験を財産にして次のステージに進んでもらいたいと考えています。

この学期を通して、子どもたちのますますの成長、ますますのレベルアップを期待しています。

3月に、子どもたちが有終の美を飾れるように、職員一同、チームワークよくがんばっていくことを決意しています。

保護者のみなさまにおかれましても、変わらぬご協力をお願いします。

## スキー教室に行きました

12日(金)に5年生と6年生の児童で、スキー教室に行ってきました。

はじめに、インストラクターの先生方から基本的なことを教えていただき、徐々に滑り方のレッスンに入っていました。実際に滑りはじめてみると、なかなか思うようにスキーを操作できず悪戦苦闘している子が多く、思い通りに滑ることが難しそうで、子ども達は硬い表情で滑っていました。レッスンが進んでいくとしだいに慣れてきて徐々に滑れるようになっていき、全てのグループが、午前中からリフトに乗ることができました。





午前のレッスンを終え、昼食の時間には、みんなおいしそうにカレーを食べ  
ていました。一杯では足りずにおかわりした子が何人もいました。

午後になると滑るコツをつかみ、どのグループも笑顔いっぱいにすいすいと  
滑れるようになりました。一日でこんなに上達するものかと、子どもたちの能  
力に驚かされました。レッスン後、インストラクターの方々にお礼を伝えた  
とき、「身延小の子はとっても素直なので上手になるのですよ」と言っていた  
き、とてもうれしく思いました。午前、午後とみっちりスキーを滑り、子ども  
達はさぞ疲れたと思いますが、帰るときには、とても満ち足りた表情をして  
いました。当日は、少し風が強かったものの素晴らしい天気と美しい景色  
に恵まれ、一人ひとりにとって、思い出深いスキー教室になったことと思  
います。感染症対策を行いながらの実施でしたが、実際の体験活動のすば  
らしさを改めて感じたスキー教室でした。

## 大谷翔平選手のグローブが届く！！



あの大谷選手が全国の小学校にプレゼントしてくれたグローブが、ついに  
身延小にも届けられました。ニュースでも伝えられているように、左用グロー  
ブ1つ、右用グローブ2つの計3つです。実際に大谷選手が、昨年のWBCや  
メジャーリーグのシーズンで使っていたものと同じモデルのグローブで  
した。

11日（木）の集会で児童のみんなに紹介をし、6年生の代表にキャッチ  
ボールをしてもらいました。

これからは、全校児童にこのグローブを使ってもらえたらと思います。

野球といえば、昨春、山梨学院高校が甲子園の選抜野球大会で優勝しましたが、  
山梨県の野球は、実のところ女子も強く、中学女子の山梨県選抜チームは  
全国優勝を成し遂げています。男の子だけでなく女の子もぜひ積極的に  
使ってもらえたらと思います（ちなみに中学男子の山梨県選抜チームは全  
国準優勝の実績があり、今回のドラフトで読売ジャイアンツ5位指名の  
又木鉄平選手はその選抜チーム出身です）。

大谷選手は、言うまでもなく超スーパースターですが、それは何もグラ  
ウンド内のプレーだけではありません。日頃の言動から、人間性の素晴  
らしさや視野の広い考え方が注目を浴びています。

このグローブを通し、野球に限らず、他のスポーツや芸術活動など、  
勉強を含めたあらゆる活動に際しても、大谷選手の気持ちを見習って  
打ち込んでほしいと思います。

## 次期児童会の役員選挙が始まりました

10日（水）の委員会の時間に、来年度の児童会役員を決めるための  
選挙管理委員会が発足しました。

16日（火）に立候補受付が締め切りになり、会長候補2名、副会長  
候補3名の計5名の候補者により、朝活動の時間を中心に選挙活動が  
始まっています。

今後は、26日（金）に立会演説会をし、その後、投票になります。

候補者は、自分の考える来年度の児童会の姿を一生懸命に伝えています。

また、候補者同様に選挙管理委員会も、公正な選挙実現のために堅  
実に活動を進めています。

これまで身延小児童会を引っ張ってきた6年生をはじめ、投票できる  
2年生以上の児童（有権者）は、立候補者の思いを真剣に受け止めて  
判断してもらいたいと願っています。

子ども達、一人ひとりの本気で真面目な思いが、来年度の児童会を  
つくります。

